

建築工事関係
工事記録写真撮影要領
(機械設備工事編)

工事記録写真撮影要領

1. 目的

この要領は、工事工程写真及び完成写真について定めるものである。

2. 工事工程写真撮影要領

a 撮影の対象

- ・工事写真は、工事着手前の状況から完成までの各工程全般に亘って対象とする。特に不可視部分の施工状況について留意する。
- ・各工程毎の検査写真は、監督員立会状況を含め撮影する。撮影対象の標準を別表（1）に示す。

b 撮影方法

（1）撮影条件の明示

写真の一部には、別掲に示す小黒板に工事名、工事項目、撮影位置及び撮影対象の設計寸法（略図）、撮影年月日を記入し、文字が判読できるよう撮影する。

（2）寸法の明示

撮影対象には必要に応じ基準線（下げ振り、水糸等）を明示し、主要寸法が読み取れるように目盛り（スタッフ、スチールテープ、リボンテープ等）を入れて撮影する。

c 写真の整理

（1）監督員への提示

撮影写真を監督員に提示して、確認受けた後アルバム、又はA4版カラープリント等で編集する。

（2）写真の大きさ

写真の大きさは原則として、サービス版（カラー75mm×110mm）とする。

（3）アルバム

写真は（社）建設業協会推奨品工事手帳A4版、又はフリーアルバムに整理する。

（4）提出

工事完了後写真のアルバム1組を監督員に提出する。

（5）電子媒体写真

・必要な文字、数量等の内容の判断ができる機能、精度を確保できる撮影機材を用いるものとし、（有効画素数は100～300万画素程度）、（色彩はカラー）、（大きさは1,200×900ピクセル～2,000×1,500ピクセル程度）とし、通常の使用条件のもと3年程度顕著な劣化が生じないものとする。

・デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、監督員の承諾を得ること。

（「国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 営繕工事写真撮影要領 平成31年改定」参照）

d 写真撮影の留意事項

（1）撮影は工程の進捗に合わせて実施するため、撮影の時期が大切であり現場に直接たずさわる工事担当者は施工計画に基づき撮影に日時、方法、工事状況等を周知し、要領に応じた撮影とする。

（2）工程の進行による後日の取り直しが困難となるため、撮影後写真の良否を確認する。

3. 完成写真撮影要領

a 撮影の対象

- (1) この要領は機械設備工事及び関連工事（別途発注の建築工事、木製建具工事、畳工事、電気設備工事）を対象とし、土木工事は、北海道土木工事共通仕様書施工管理基準によるものとする。
- (2) 完成写真は、工事完成状況全般を撮影し撮影対象は別表（2）に示す。

b 写真の整理

(1) 監督員への提示

撮影写真を提示して、確認を受けた後アルバムに整理する。

(2) 写真の大きさ

写真の大きさは原則として、サービス版（カラー75mm×110）とする。

(3) アルバム

写真は（社）建設業協会推奨品工事手帳A4版、又はフリーアルバムに整理する。

(4) 整理 製本 提出

写真は、配置図又は平面図を作成し撮影方向を入れ、アルバムと一緒に整理して1部を提出する。

(5) 電子媒体写真

必要な文字、数量等の内容の判断ができる機能、精度を確保できる撮影機材を用いるものとし、（有効画素数は100～300万画素程度）、（色彩はカラー）、（大きさは1,200×900ピクセル～2,000×1,500ピクセル程度）とし、通常の使用条件のもと3年程度顕著な劣化が生じないものとする。

c 写真撮影の留意事項

- (1) 撮影は技術の熟練者にあたらせ、広角レンズの使用等充分配慮する。
- (2) 写真は、同時工期の関連工事（別途発注の建築工事、電気設備）も完了した写真を撮影する。
- (3) 写真には、仮設物、人物、車両、小黒板等が入らない写真とする。

別表(3) 機械設備工事

工種	項目	撮影対象	要領及び注意事項	備考	
1	一般共通 事項	機 器 材 料 仮 設 工 事 スリーブ、イン サート工事 配 管 漏 洩 試 験 土 工 事	使用する 材 料 着 工 前 着 工 前 完成時の状況 材 料 施 工 状 況 施 工 状 況 施 工 状 況 漏 洩 試 験 し尿浄化槽 地下貯油槽	現場搬入時、材料別に規格、寸法、JIS マーク、製造所を明示しスケールを入れて 撮影する。 建築工事に準じる。 〃 〃 口径、種類（つば付、紙、鉄板、木枠等） を整理し撮影する。 取付位置、径、管種、補強状況等を撮影 する。配管、ダクト完了後の防水スリーブ の穴埋め処理状況を撮影する。 下記配管の加工状況及び接続状況を撮影 する。 鋼 管 ネジ切、リーマ掛、溶接状況、 支持金物取付状況、接合材、ネ ジ部の防錆処理を撮影する。 銅 管 接合状況、支持、振れ止め状況 を撮影する。 鋳鉄管 ボルト締付け状況、支持金物取 付状況を撮影する。 鉛 管 加工状況、接続状況、支持金物 取付状況を撮影する。 ステンレス管 加工状況、接続状況、支持金物 取付状況を撮影する。 塩ビ管 接合状況、屋外の場合埋設状況 を撮影する。 ヒューム管 接合状況、埋設状況を撮影する。 ポリエチレン管 接合状況、埋設状況を撮影する。 試験状況の撮影、圧力計の目盛、針の位 置確認できるように撮影する。 掘削、埋め戻しの施工状況は建築工事に 準じる	

工 種	項 目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備考
		埋設管等根伐 根伐施工状況	<p>施工前状況、根伐位置を撮影する。</p> <p>機械掘りの場合、機種が判るように撮影する。</p> <p>根伐深さ、根伐幅をスケールにて設計G L、現況G L等が判るように撮影する。</p> <p>布設状況、埋設位置を撮影する。</p> <p>埋戻し、転圧状況を撮影する。</p> <p>土砂の運搬状況、敷き均し状況、捨て場の状況を撮影する。</p>	
	コンクリート 工 事	解 体 工 事 機械基礎工事	<p>建築工事に準じる。</p> <p>基礎設置位置、配筋、アンカーボルト取付状況を寸法明示し撮影する。</p> <p>コンクリート打設状況を撮影する。</p>	
	塗 装 工 事	材 料 施 工 状 況	<p>使用塗料別に材質を明示して撮影する。</p> <p>塗装回数ごとに前回の塗りと比較できるよう仕上状況を撮影する。</p>	
	保 温 防 露 工 事	材 料 施 工 状 況	<p>搬入時、梱包の状態で材質、厚さ、製造メーカー、J I Sマークを明示し撮影する。</p> <p>系統ごとに作業工程を撮影する。</p> <p>重ね幅、巻回数が判るよう荷撮影する。</p>	
	防 錆 工 事	材 料 施 工 状 況	<p>使用材料を材質、製造メーカー、J I Sマークを明示し撮影する。</p> <p>防錆処理前の処理状況を撮影した後、工程毎に撮影する。</p> <p>巻回数、重ね幅が判るよう撮影する。</p> <p>ジュート巻の場合、アスファルト、プライマの塗り回数を撮影する。</p>	
	左 官 工 事	材 料 施 工 状 況	<p>建築工事に準じる。</p>	
	鋼 材 工 事	材 料 施 工 状 況	<p>建築工事に準じる。</p> <p>溶接状況を撮影する。</p>	
	電 気 設 備 工 事	機 器 材 料 施 工 状 況	<p>搬入時、寸法、規格、J I Sマーク製造メーカーを明示し撮影する。</p> <p>電気設備工事に準じ、指向範囲を明確にして撮影する。</p>	
	改 修 工 事	改 修 前 状 況	<p>系統別に状況を撮影する。</p>	

工 種		項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
			施 工 状 況 完 了 状 況	解体撤去状況を撮影する。 各工種工程別に撮影する。 完了状況を撮影する。	
2	空気調和 設備 1) ダクト 工事	風 道 風道付属品 (防雪フード) (天 蓋) 保温・防露 塗 装	材 料 施 工 状 況 材 料 施 工 状 況 材 料 施 工 状 況	搬入時、材質、板厚、寸法（スケールをあてて）を明示し撮影する。 風道の振れ止め、補強、接続状況、多湿箇所施工する排気ダクト等にシール状況並びダクトの系統、施工位置、寸法を明示して撮影する。 ダクト（亜鉛鉄板）の見え掛かり部分の内面黒つやけし塗り等を撮影する。 搬入時、材質、形式、寸法を明示し撮影する。 ダンパー、吹出口、吸込口、ガラリ、フード、チャンバー等の施工位置、寸法、接続方法を明示し撮影する。 ダンパーの防火区画の処理、施工状況、ダンパーの固定状況を撮影する。 保温、内貼（厚さ、塗装）を撮影する。 保温施工状況、厚さ（スケールをあてて）を撮影する。	
	2) 配管 工事	冷温水配管 蒸気配管 給油配管	材 料 施 工 状 況	一般共通事項参照、伸縮継手の支持状況、クランプ装置施工状況を撮影する。 一般共通事項参照。	
	3) ボイラ 設備	ボ イ ラ	搬 入 状 況 基 礎 の 状 況 燃 焼 装 置 煙 導 付 属 機 器	搬入、据付、据付工事作業主任者の必要なボイラは作業主任者の作業状況を撮影する。 寸法、アンカーボルトの取付状況。 取付状況を撮影する。 寸法、径、板厚、断熱ラッキング、指示金物、伸縮部、固定金物、施工状況を撮影する。 取付状況の撮影。	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
		水 圧 試 験	試験の状況の撮影、圧力計の目盛、針の位置が確認出来るように撮影する。	
4) 冷房 設備	冷 凍 機	機 材	搬入時、形式、冷凍能力、構造、材質等を明示し撮影する。	
		据 付 状 況	基礎の状況、アンカーボルトの状況を撮影し、取付状況を撮影する。 付属品機器の取付状況、配管接続、弁の位置、防振材取付状況を撮影する。	
	冷 却 塔	機 材	搬入時、形式、材質、製造所等を明示し撮影する。	
		据 付 状 況	基礎の状況、位置、寸法、アンカーボルトの状況を撮影する。 据付状況を撮影する。配管状況、弁類取付状況を撮影する。	
空 気 調 和 機	機 材	搬入時、形式、能力、材質、寸法、製造所等を明示し撮影する。		
	据 付 状 況	基礎の状況、位置、アンカーボルト、防振取付状況を撮影する。 ダクト、配管との接続状況を撮影する。 機器内部の各仕様について撮影する。		
空 気 清 浄 装 置	機 材	搬入時、形式、能力、材質、寸法、製造メーカー名等を明示し撮影する。		
	据 付 状 況	空調機との納まり状況。 機器内部の各仕様について撮影する。 予備品があれば撮影する。		
5) 放熱器	鋳鉄製放熱器 コンベクター ファンコンベクター ハ°ネルヒーター	機 材 据 付 状 況	搬入時機種、呼び番号、風量、静圧、製造メーカー名、材質を明示し撮影する。 固定状況、配管接続状況を撮影する。	
6) 送風機		機 材 据 付 状 況	搬入時機器、呼び番号、風量、静圧、製造メーカー名、材質を明示し撮影する。 支持、固定の状況、ダクト、たわみ継手の接続、防振材の取付状況を撮影する。	
7) 換気扇		機 材	搬入時、羽径、風量、静圧、製造所、JISマークを明示して撮影する。	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備考
		据 付 状 況	<p>壁付の場合の木杵ビス等の固定状況が写るように撮影する。</p> <p>天井扇の吊り金物の状況、ダクト接続の状況を撮影する。</p>	
8) ポンプ	空調用ポンプ ホイラー給水 真空給水・給油ポンプ	機 材 据 付 状 況	<p>搬入時、口径、流量、揚程、材料、電源の種類、製造メーカー等を明示し撮影する。</p> <p>基礎の状況、据付状況、配管施工状況、防振材取付状況、付属機器取付状況を撮影をする。</p>	
9) 槽管寄せ	還 水 槽 熱 交 換 器 貯 湯 槽 膨 張 水 槽 貯 油 槽 サ-ビ-スタ-ンク 管 寄 せ	機 材 据 付 状 況 機 材 据 付 状 況 機 材 据 付 状 況 機 材 据 付 状 況 機 材 据 付 状 況	<p>形状、寸法、板厚、有効要領等を明示して撮影する。</p> <p>基礎状況、据付、配管接続状況、塗装状況を撮影する。</p> <p>形式、能力、材質、温度、圧力、保温、寸法、槽内部を撮影する。</p> <p>基礎状況、配管接続状況、パッキンの状況、付属機器取付状況、保温、ラッキングの状況を撮影する。</p> <p>容量、材質、接続口径、寸法、有効水量を明示し撮影する。</p> <p>取付状況、配管接続状況を撮影する。</p> <p>容量、板厚、寸法を明示し撮影する。</p> <p>地下埋設タンクの場合：土工事の状況、矢板等土状況、基礎コンクリートの状況、基礎コンクリートの状況、配筋状況、コンクリート打設、タンク据付、防錆の状況、消防検査の状況を撮影する。</p> <p>上部スラブの施工状況、配管施工状況、付属機器の取付状況を撮影する。</p> <p>容量、板厚、寸法を明示し撮影する。</p> <p>基礎の状況、配管接続状況、固定状況、塗装の状況を撮影する。</p> <p>寸法、接続口径等を明示し撮影する。</p> <p>基礎の状況、配管、弁類との接続状況、保温、ラッキングの寸法を明示し撮影する。</p>	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
		製作過程の 撮影	製缶類は、使用鋼材の品質、板厚及び製作過程、完成品内部を向上で撮影する。 ボイラ又は第一種圧力容器製造許可向上であることの表示を撮影する。		
	10) 自動 制御設備	機 器 配 管 配 線 機 器 取 付	機 材 施 工 状 況 施 工 状 況 施 工 状 況	搬入時、企画、寸法、製造所等を明示し撮影する。 電気設備に準じる。 電気設備に準じる。 各配管、ダクト、他機器への取付、固定状況を撮影する。 制御盤等は盤表面のほか扉を開いた状態で撮影する。	
3	衛生設備 1) 屋外 給水	根 伐 地 業 布 設 埋 戻	現 況 機 材 施 工 機 材 施 工 資 材 施 工 施 工	敷地状況、布設位置、設計基準高、設計GL、現況GLを明示し撮影する。 使用機器、土留がある場合には、土留材、打込機器を明示し撮影する。 作業状況、幅、深さ（設計GL、現況GL等より明示）を明示し撮影する。 転圧機器、栗石、砂、等を撮影する。 作業状況、栗石、砂等基礎寸法を明示し撮影する。 規格、寸法、製造者名を明示撮影する。 取付状況、設置深さ等の寸法を明示し撮影する。 作業状況、完了状況、残土がある場合には、その処分状況と処分後状況を撮影する。	
	2) 屋内 給水	配 管 水 槽 機 器	資 材 施 工 施 工 施 工	規格、寸法、製造者名、特に継手、シール材、補修材、防食剤、吊棒等補助材の規格を撮影する。 加工状況、吊込状況、接合部状況、保温前・完了状況、スリーブ穴埋め状況、水圧試験、配管洗浄状況を撮影する。 組立状況、清掃前清掃状況、清掃後並びに使用薬品、耐震アンカーの取付（打込）寸法と取付状況を撮影する。 配管取付部の施工状況、接続状況を撮影	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
			<p>する。</p> <p>搬入・設置状況、配管接続状況を撮影する。</p>	
3) 屋外排水	配管 柵	資材 施 工 施 工	<p>接続材等副資材を撮影する。</p> <p>ヒューム管等の本数（管にナハリング）、接続状況、滑材等使用状況を撮影する。</p> <p>継手部分ごとのレベル（基準点からの明示）、継手部支持がある場合は資材寸法及び作業状況を撮影する。</p> <p>径、深さ、仕上高（基準点からの明示）、各柵の施工順序を撮影する。</p> <p>配管、柵に番号を入れて撮影する。</p> <p>インバート作業状況、接続等の作業状況（止水、モルタル等）を撮影する。</p>	
4) 屋内排水	配管 金物 衛生器具	資材 試 験 施 工 資 材 施 工	<p>継手、ボルト、補修材等副資材・補助材を撮影する。</p> <p>補修材塗布状況、接続状況、スリーブ穴埋状況を撮影する。</p> <p>吊込状況、吊込完了状況、レベル確認状況、ライニング内状況、タイル割付等との位置出を撮影する。</p> <p>満水試験状況を撮影する。</p> <p>通気金物、排水金物の防水処理状況、取付状況を撮影する。</p> <p>調整ブロック（金物）等副資材を撮影する。</p> <p>据付状況、床レベル、配管接続状況、他との取り合いを撮影する。</p>	
5) 給湯	配管 機 器	資材 施 工	<p>ベスト、ろう材、加熱器を撮影する。</p> <p>作業状況（ベスト、ろう材、加熱、清掃）、支持金物取付状況、配管洗浄状況を撮影する。</p> <p>湯沸器等の接続、固定状況、貯湯槽・熱交換器の接続、固定状況を撮影する。</p> <p>伸縮継手、取付状況を撮影する。</p>	
6) ガス	配管	資材	防食材、吊金物（防食）を撮影する。	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
		施 工	防食現場施工部分の施工状況、気密試験状況を撮影する。	
7) 消火	機 器	資 材 施 工	認定品マークを撮影する。 屋外機器設置レベル（基準点の明示）を撮影する。	
8) ガス 漏れ警報	機 器	資 材	電気設備工事の当該事項による。 認定マークを撮影する。	
9) し尿 浄化槽	仮 設 一 般	現 況 土 留 水 替 試 験	施工前、位置出し状況、周辺状況（既設物との安全距離）撮影する。 矢板等の寸法、形式、打込方法、打込機器、打込状況（打設材 1 m毎に印をつける）を撮影する。 水替状況を撮影する。 建築工事に当該事項による。特に振動等による周辺建築物の影響について検討し、必要に応じ周辺建築物の状況（外壁亀裂など）を撮影する。 満水試験状況を撮影する。	
10) さく井	仮設 掘削 ケーシング・ ストレーナー 玉 砂 利 パッキング	現 況 機 器 施 工 完 了 資 材 そ う 入 資 材 そ う 入 資 材 施 工	施工前、位置出し状況、周辺状況を撮影する。 使用機器、ヤグラ部材、ビット、ヤグラ組立状況、ヤグラ等機器組立完了全景を撮影する。 掘削状況、止水状況、サンプリング状況を撮影する。 検尺状況、電気検層状況、仕上状況を撮影する。 ストレーナー（巻線ピッチ、孔径、数、長さ）ケーシング（番号）を撮影する。 各管継手毎の番号及び継手形状を撮影する。 粒径等の規格を撮影する。 深度（特に否採水層の高さ）、施工状況を撮影する。 パッカーの品種（粘土、セメント等）、使用機材を撮影する。 施工状況を撮影する。	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
	ポンプ・配管 試 験 トレンチ等	資 材 そ う 入 資 材 施 工	ポンプ規格、揚水管（径、長さ）撮影する。 ケーシング・ストレーナに同じ。 測定器、装置全景を撮影する。 各段階ごとの状況（ノッチ高の明示）、 試験水サンプリング状況を撮影する。 各当該事項による。	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備考
1	共通事項		<p>1. 室の中心に位置する場所でカメラ位置は床下1m程度の高さから複数の機器出来るだけ多く入るような位置で床(又は地面)も含めて撮影する。 又、必要に応じて位置を変えて数枚撮影する。</p> <p>2. 主要機器は設置場所、取付高さ及び取付状況が判断出来るように適宜拡大(単独)撮影する。</p> <p>3. 撮影に際し、機器類は完全に完成した状態で汚れ、傷、ドロ、土、砂、雪、木片発生品等を除去し、機器内外を清掃した後撮影する。(他業種の各工事が完全に完成した後に撮影すること)</p> <p>4. カメラは原則として1眼レフとし、焦点距離28mm/mのレンズを使用する。 又、必要に応じて望遠レンズも使用し、状況に応じてストロボ等の補助照明を使用する。 焦点距離24mm/m以下のレンズを使用しないこと。ただし特殊な場合は除く。</p> <p>5. 一面の壁に複数の機器が設置されている場合は、機器が出来る限り多く入るような位置で、床及び天井も含めて撮影する。</p>	
2	ボイラー室設備	ボイラー及び付属品 煙道・ 煤煙濃度計 ヘッダー	<p>ボイラー・真空ポンプ・還水槽は、全景が見通せる位置で撮影し、付属機器類、配管状況が判別出来るようにする。 据付外観を明視できる位置で撮影する。</p> <p>〃 〃</p>	
3	暖房設備	放熱器	<p>各機種毎据付外観、同一部屋の場合は数台一緒に撮影する。 換気設備が同じ面に入る場合はまとめて撮影する。</p>	

工 種		項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
4	換気設備		換 気 扇 送 排 風 機 屋 外 フ ー ド 風 除 版 吹 出 口 ・ 吸 込 口 等	各機種毎に据付外観、同一部屋の場合はまとめて撮影する。	
5	空気調和設備		空 調 機 ろ 過 器 冷 凍 機 冷 却 塔 ポ ン プ 吹 出 口 ・ 吸 込 口 等	全景が見通せる位置で撮影し、付属機器類・配管状況が判別出来るように撮影する。	
6	給油設備		貯 油 槽 サービスタンク オイルポンプ 油 面 指 示 計 給 油 口	上部スラブ全景を撮影する。 全景を見通せる位置で撮影し、主要配管機器類に取付状況が判別出来るように撮影する。	
7	給水設備		受 水 槽 高 架 水 槽 加 圧 装 置 主 要 配 管 薬 注 装 置 量 水 量	全景を見通せる位置で撮影し、付属機器類、廃刊状況が判別出来るように撮影する。	
8	排水設備		排 水 枳 ルーフトレン 金 物 通 気 金 物 阻 集 機 器 排 水 ポ ン プ	配管全景を見渡せる位置で撮影し、種類の違うものは蓋をした状態と内部を明示し撮影する。	
9	給湯設備		給湯ボイラー 貯 湯 槽 熱 交 換 器 循 環 ポ ン プ 膨 張 タ ン ク 湯 沸 室	全景を見通せる位置で撮影する。 " 付属機器・配管状況が判別出来るように撮影する。 全景を見通せる位置で撮影する。 "	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
10	ガス設備	ガスメーター ガスカラン、 B O X L P G 集 合	全景を見通せる位置で撮影する。	
11	ガス漏れ 警報設備	ガス感知器 中 継 器 ガス漏れ集中 監 視 盤	取付状態を明視できる位置で撮影する。 装置全体を見通せる位置で撮影する。	
12	衛生器具 設備	大 便 器 小 便 器 洗 面 器 掃除流及び付 属 金 物 類 鏡 ・ 各 種 水 栓 等	取付状態を明視できる位置で撮影し、付 属金物類と一緒に撮影する。	
13	消火設備	ポ ン プ ・ 加 圧 装 置 屋内消火栓箱 屋 外 消 火 栓 格 納 箱 その他主要機器	全景を見通せる位置で撮影し、付属機器 類、配管状況が判別出来るようにする。 外観及び扉を開き内部を明視できるよ うに撮影する。 " "	
14	厨房設備	厨 房 機 器 類	据付外観を明視できる位置で撮影する。	
15	し尿浄化層	既成品の場合 R C 造の場合 原 水 ポ ン プ 調 整 器 ブ ロ ア ー 制 御 盤 フ ロー シ ー ト 消 泡 ポ ン プ 内 部 装 置 及 び 主 要 配 管	上部躯体全景・制御盤・ブロアー等主要 機器を明視できるように撮影する。 建物全景（二方向以上）及び主要機器、 主要配管が明視できる位置で撮影する。	

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
16	さく井 設備	ポンプピット 井戸蓋及び 内部機器類	全景が見通せる位置で撮影し、内部機器類が判別出来るように撮影する。	
17	焼却炉 設備	焼 却 炉	全景が見通せる位置で撮影し、煙道等を一緒に撮影する。 扉の内部の機器取付状況、結線状況を撮影する。	